

THE OLD BLOOD NOISE ENDEAVORS

SIGNAL BLENDER はシンプルですが無数の用途を見出すことができるブレンダーペダルです。

メイン入力にはSend A, Send B, そしてOutputの3つへ送られます。OutputへはReturn A, Return B, Inputが送られます。3つのノブはReturn A, Return B, そしてブーストされたInputであるCleanの音量を調整します。

3つのフットスイッチでルーティングを変更します。フットスイッチAはInputをSend AからReturn Aへ送り、Aボリュームコントロールを通過してOutputへ送ります。フットスイッチBはInputをSend BからReturn Bへ送り、Bボリュームコントロールを通過してOutputへ送ります。フットスイッチCleanはInputからCleanボリュームコントロールを通過してOutputへ送ります。

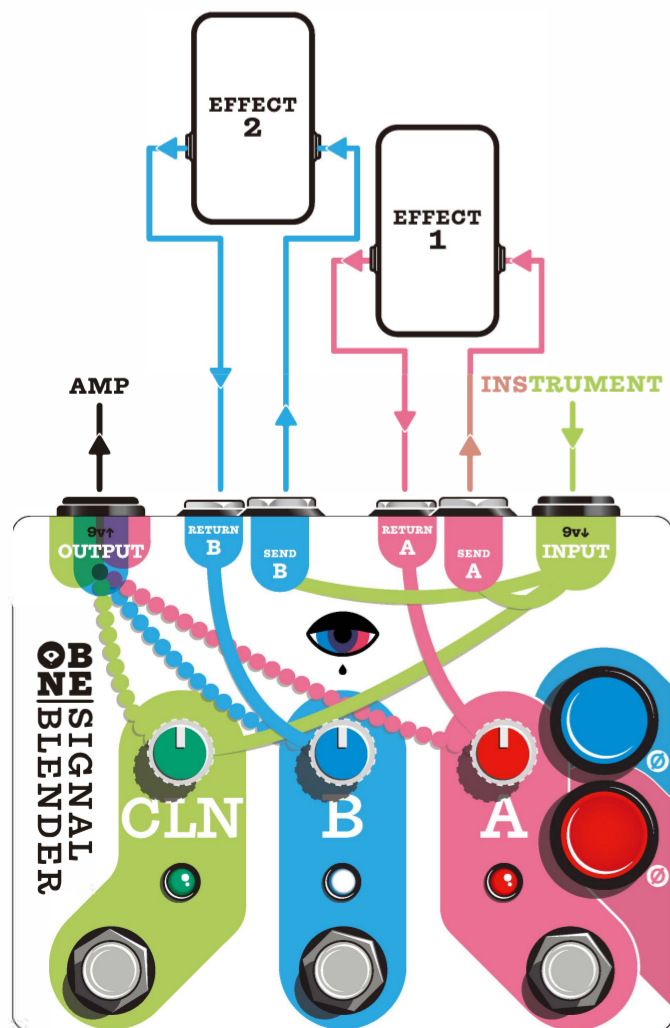
赤と青のphaseスイッチはSend AとSend Bから送られる信号の位相を反転させます。ループに繋ぐペダルによっては位相を反転させることでサウンドが向上する場合があります。

全てのフットスイッチがオフのとき、Signal Blenderはトゥルーバイパスでオフになり、Inputのから信号が直接Outputへ送られます。

SCENARIO: PARALLEL EFFECTS

Signal Blenderをパラレルミキサーとして使用する場合は、Send Aからエフェクトペダルのインに接続し、同じペダルのアウトからReturn Aへ接続します。他の違うペダルを使って、Send/Return Bも同じように接続します。これでフットスイッチを使ってエフェクトを並列でブレンドすることができます。更にクリーンサウンドはCleanフットスイッチで追加ができます。

並列にしたサウンドが逆位相になっている場合は、対応する赤か青のフェイズスイッチを使って位相の修正が可能です。



Signal Blenderはここで紹介した使用例の他にも、更に複雑なセットアップを達成することが可能です。ここでの基本的なルールを理解しておけば、応用して無数の使用方法を見出すことができるでしょう。楽しんでください！

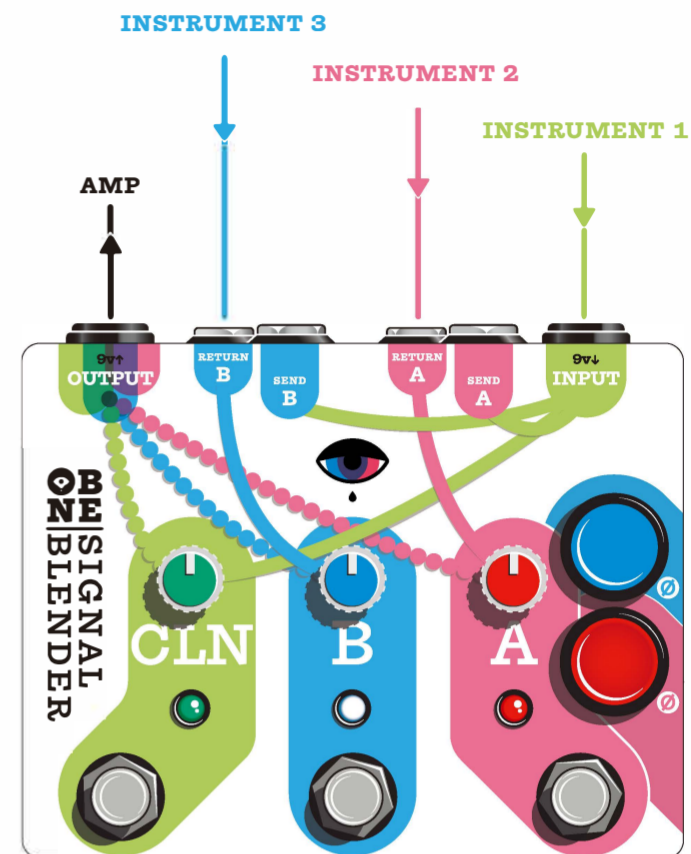
Note: フットスイッチは押し方により、ラッチ/モーメンタリー式の動作を切り替えます。通常通り短く踏めばラッチ式、踏み続けるとモーメンタリーとなり、押ししてる間のみエフェクトが有効になります。

Signal Blenderには追加の電源サプライ用ジャックが用意されており、Signal Blenderに接続されているパワーサプライの電源を分配することが可能です。

SCENARIO: 3-TO-1 MIXING

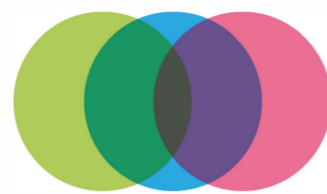
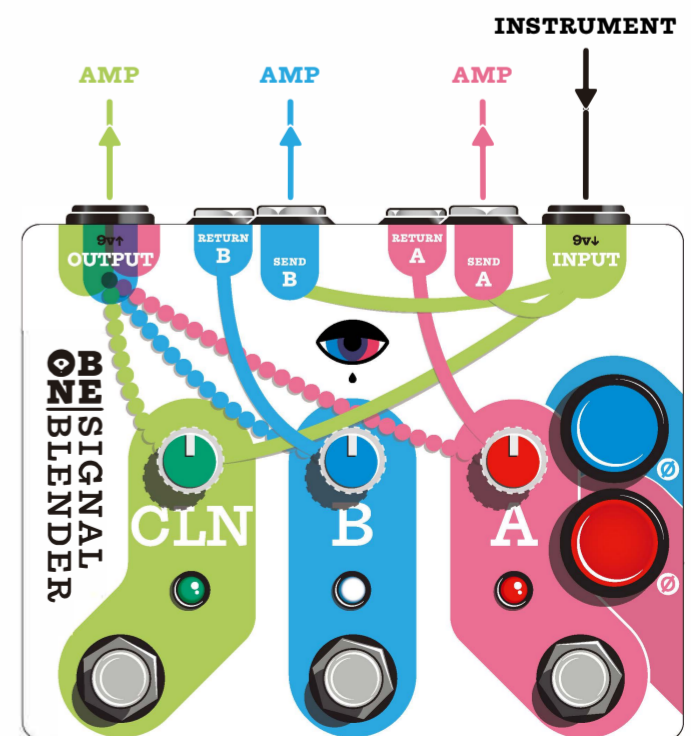
Signal Blenderをインストゥルメントミキサーとして使用する場合は、各楽器をInput, Return A, Return Bへ接続します。他の違うペダルを使って、Send/Return Bも同じように接続します。

フットスイッチA, B, Cleanで各入力をOutputへ送り、対応す



SCENARIO: 1-TO-3 SPLITTING

Signal Blenderをスプリッターとして使うには、楽器をInputに接続し、Send A, Send B, Outputを各アンプへ接続します。アンプが逆位相になっている場合は対応するフェイズスイッチで修正が可能です。A, B, Cleanフットスイッチで対応する出力へ楽器信号を送れるようになります。

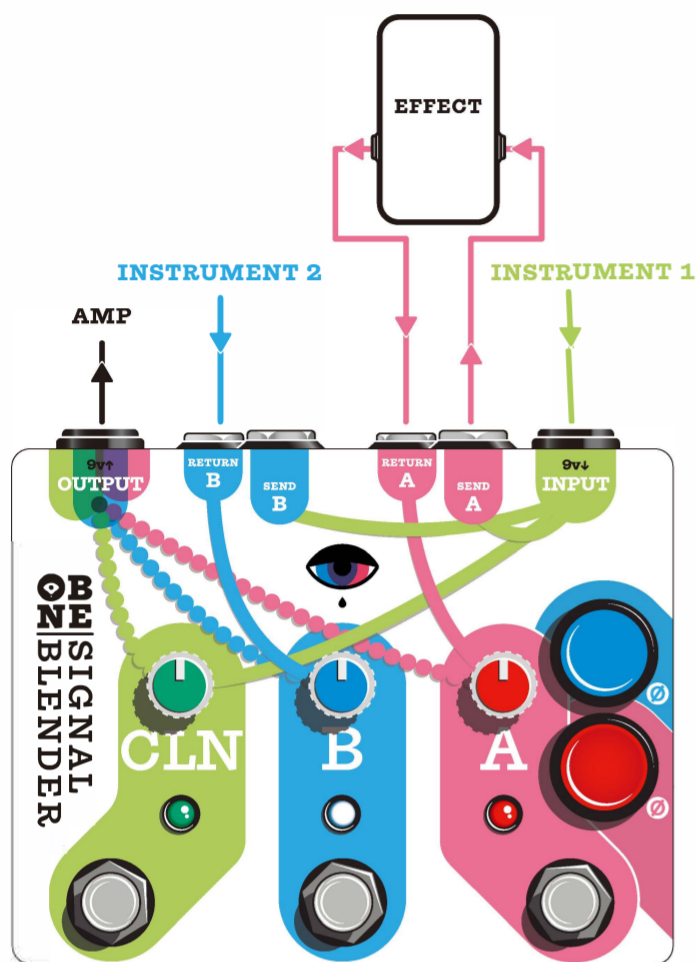


SIGNAL BLENDER

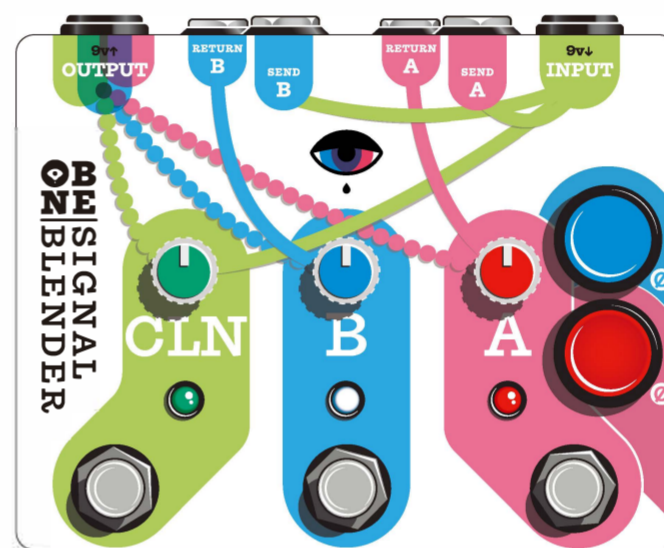


SCENARIO: PARALLEL FX & 2-TO-1 MIXER

Signal BlenderをパラレルFX兼2-1ミキサーとして使うセットアップ例です。Send Aからエフェクトのインプットへ、エフェクトのアウトからReturn Aへ接続します。追加の楽器入力をReturn Bへ接続します。全てのフットスイッチをオンにすると、Outputからインストールメント、エフェクトを通過したインストールメント、そして並列で2つ目の楽器が出力されます。

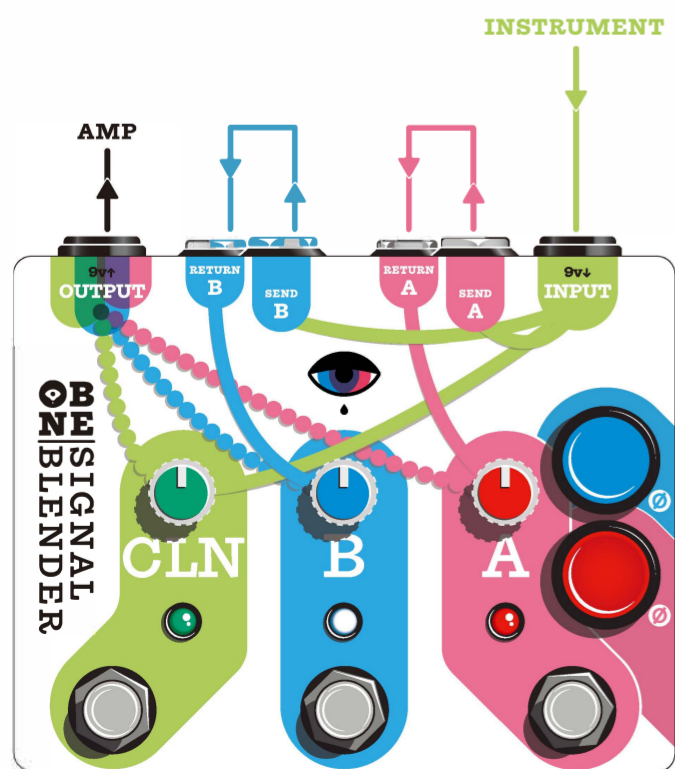


SCENARIO: USER DEFINED



SCENARIO: CLEAN BOOST

Signal Blenderをクリーンブースター、ボリュームセッターとして使用するセットアップ例です。Send AからReturn Aへ直接接続し、同じようにSend BからReturn Bへ直接接続します。各フットスイッチはInputシグナルの並列のコピーを作り出し、更にボリュームをノブでブースト/カットが可能になります。



SCENARIO: USER DEFINED

